

冬に備えて

☎ 上下水道課 283-7106
上下水道料金お客様センター 283-7109

水道管に冬の準備を

昨冬1月25日から26日にかけて、最低気温が氷点下5.2度を記録する猛烈な寒波の影響を受け、水道管が凍結により破損し、漏水が数多く発生したため、市内一部地域が断水となりました。冬に備えて、水道管の凍結や破損をどのように防止すればよいか、改めておさらいしましょう。

凍結しやすいのはいつ？

- ・最高気温0度未満の真冬日が続く日
- ・気温が-4度以下の時



日	気温		
	平均(度)	最高(度)	最低(度)
24日	-0.2	5.0	-5.0
25日	-2.9	-0.9	-5.2
26日	0.5	3.6	-4.5

2023年1月断水発生時の気温

昨冬1月24日から26日までの3日間は連続して最低気温が-4度以下を記録しました。

凍結しやすいところはどこ？

- ・水道管がむき出しになっているところ
- ・水道管が屋外や風当たりの強い場所にあるところ
- ・北向きの日陰、床下



- ・給湯器に接続してある配水管
- ・散水栓、湯沸かし器の元栓等
- ・洗面所やトイレの蛇口

準備しておくことは？

- 1 屋外にある水道管が露出しないように、管や蛇口の周りに保温材等を巻きつけ、固定します。保温材は市販されているもののほかに、毛布、レジャーマット、発泡スチロールなどご家庭にあるものでも代用できます。
- 2 さらに保温材等が水でぬれないようにビニールテープなどで下からすき間なく重ねて巻きます。

注意！

すでに保温材が巻かれている箇所も、劣化していないか確認してください。



ご協力をお願いします。

冬季間は、積雪や凍結などでメーターの検針が困難となることがあります。検針ができない場合、使用水量を認定させていただくことがあります。メーターの確認が遅れると漏水の発見が遅れることがあります。メーターボックスの上に雪が積もっている場合は、メーターが確認できるよう、ボックスと周辺の除雪にご協力ください。水不足の原因となりますので、水道を融雪目的で使用することは控えてください。



長期間不在の場合はどうしたらいい？

- 1 空き家をお持ちの場合や仕事・旅行・施設入所などで長期間不在にする場合には、メーターボックス内にある止水栓（元栓またはハンドル）を時計回りに回して、閉めてください。
 - 2 止水栓を閉めたあと、家の中の蛇口を1カ所開けて、水が出なくなったことを確認しましょう。
- ▶ 遠方にお住まいで作業ができない場合は、上下水道課または上下水道料金お客様センターまでご相談ください。



予報により、非常に強い寒波が到来すると予想される場合は、職員が長期不在住宅の止水栓を閉める場合がありますが、ご了承ください。使用される際には、ご自身でメーターボックス内にある止水栓（元栓またはハンドル）を反時計回りに回して、使用してください。

長期間不在の場合は「水道使用中止届」を提出しておくことで水道料金がかりません。

- ▶ 申込方法 ・ 上下水道料金お客様センターに電話、または窓口で申し込み
- ・ 電子申請フォームから申し込み

（水道使用中止届を提出後に、使用を再開する場合は、開栓手数料1,600円がかかります。）



＜詳しくはこちら＞

水道管が凍結した場合はどうしたらいい？

- 1 水道管や蛇口など、凍った部分の上にタオルを被せます。
- 2 その上からゆっくりぬるま湯をかけます。ぬるま湯が用意できない場合は、ドライヤーの温風や使い捨てカイロを当ててみてください。

注意！

熱湯を直接水道管や蛇口にかけてと破裂する危険がありますので、やめましょう。



水道管が破損した場合はどうしたらいい？

万一、水道管が破損した場合は、メーターボックス内にある止水栓（元栓またはハンドル）を時計回りに回して、閉めてください。その後、市指定給水装置工事事業者へ修理依頼を行ってください。修理費用は自己負担となります。



＜市指定給水装置工事事業者はこちら＞

漏水していないか確認したい場合は？

- 1 家の中の蛇口を完全に全て閉める。
- 2 メーターボックス内にある水道メーターのパイロットが回転しているか確認する。



○が回転している場合、漏水が考えられます。